

目標は予選1位通過

県代表チームの一員として全国大会へ



健闘を誓い、ガッツポーズする三國さん(中右)

泊スポーツ少年団の三國海藍さん(泊小4年)が3月17日、村長室を訪れ、県代表として全国ホープス選抜卓球大会に出場することを戸田衛村長に報告しました。

同大会は都道府県対抗で5人のシングル戦を行って勝利数を競う団体戦で、三國さんは県予選の4年生以下の部で優勝し、代表入りを決めました。

三國さんは昨年の夏にも全国大会へ出場しており、今回が2度目の全国大会出場で「目標は予選を1位で通過する事です」と意気込みを語りました。戸田村長は「昨年の全国大会出場経験を活かして自信持って頑張ってきてください」と激励しました。

村の魅力、全国に発信

ろっかしよ応援大使を委嘱



応援大使に就任した原さん(後列左)、清水さん(後列右)、遠田さん(前列右)と戸田村長(前列左)

村は3月22日、村のイメージアップおよび産業・観光振興を図るため、村に縁のある4人に「ろっかしよ応援大使」を委嘱しました。

応援大使に就任したのは、室蘭工業大学教授の清水一道さん(室蘭市在住)、フリーアナウンサーの遠田恵子さん(東京都同)、日本政策投資銀行の原幸宏さん(高松市同)、東北大学大学院教授の高橋信さん(仙台市同)の4人。委嘱状交付式には、仕事の都合で欠席となった高橋さんを除く3人が出席しました。応援大使の皆さんは今後、応援大使の名刺配布などで村のPRをしていく予定です。

戸田衛村長は「村にはエネルギー関連施設のほか、豊かな自然環境、農・海産物などの特産品がたくさんある。村の知名度アップなどにお力添えをお願いします」と話しました。

観光の活性化の一翼に

六ヶ所村地域おこし協力隊 委嘱状交付



戸田村長と握手する杉本さん

六ヶ所村地域おこし協力隊の委嘱状交付式が4月3日、村長室で行われ、青森市出身の杉本愛さんに対し、戸田衛村長から委嘱状が交付されました。

村にとって第1号の隊員となる杉本さんには、地域の人気が気づかない村の良さや資源を発掘しながら、特産品の販売促進やPR活動など、主に観光関係の活動に携わっていただきます。

委嘱状を交付された杉本さんは「村のイベントなどに携わっていきたい。村ならではの魅力を引き出していきたい」と述べていました。

新一年生として、新たな学校生活が始まる  
村内各小中学校で平成29年度入学式挙行

村内各小中学校で4月7日、平成29年度入学式が挙行されました。今年度は小学校90人、中学校71人、合計161人の新入生が期待と不安を胸に新たな学校生活をスタートさせました。



お兄さんに手を引かれ入場する新入生(千歳平小)



壇上で自己紹介する新入生たち(千歳平小)



歓迎のことは(千歳平小)



本を受け取る新入生代表(千歳平小)



入場を終えた新入生たち(泊中)



誓いの言葉(泊中)



歓迎の言葉(泊中)



入場する新入生(泊中)

千歳平小学校では17人の新入生が入学しました。式典が始まると5、6年生のお兄さん、お姉さんに手を引かれた新入生たちが入場。恥ずかしそうにはにかみながら入場する新入生たちを、在校生や保護者たちは、音楽に合わせて拍手で迎えました。式辞で澁田健太校長は「目には見えない大切なことを探すために学校の勉強があります。これからたくさん見つけましよう」と述べました。また、児童を代表して岡部璃緒さん(6年)が「千歳平小学校には楽しい行事がたくさんあり、学年関係なく仲良しです。たくさん一緒に遊びましよう」と新入生を歓迎しました。その後、新入生たちは壇上へ。緊張しながらも元気よく自己紹介していました。式典を終えて教室に戻った新入生たちは「算数を頑張りたい」「得意な縄跳びをもっと頑張る」と笑顔で話し、学校生活に心躍らせていました。

千歳平小学校	14人
泊中学校	12人
第一中学校	27人
第二中学校	18人
千歳中学校	17人
南小学校	14人
尾駈小学校	39人
泊小学校	20人
【村内小中学校新入生人数】	

入生が入学しました。式典では中田孝幹校長が「心を磨き、心を整え、夢や目標を持ってたくさんのかっこいいことを学び、自分を高めることができる人を目指して努力してください」と式辞を述べました。生徒会長の中村開さんは「勉強への意欲と助け合いの心を持ち、初心を大切にしてください。そして泊中を良くする一員として頑張ってくださいましよう」と新入生を歓迎しました。そして新入生を代表して古泊可衣さんが「中学生だという意識を持ち、支えてくれる周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、何事にも進んで取り組んでいきます」と誓い中学校生活をスタートさせました。